

株主の皆さまへ

第74期報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

証券コード：1945

Q'd
どこまでも
クオリティオリエンティッド

株式会社 **東京エネシス**
TOKYO ENERGY & SYSTEMS INC.



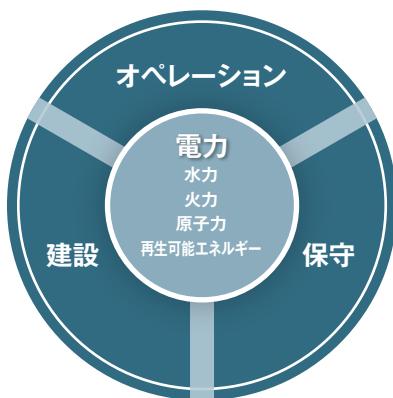
Q'd

Quality Oriented

Q'd(キュード)は、「どこまでもQuality Oriented」でありたいという考えを表したものです。Q'dとは、お客さまのために、社会のためにより良い提案をしていきたいと誓い合う言葉でもあります。

その思いを胸に、長年電力設備で培った現場技術力を、次の解決力へ

ENERGY × SOLUTION



私たちは電力設備の設計から建設、
保守まで一貫施工を可能にする
技術力を持つ企業として高い信頼を得て、
暮らしの基盤づくりに広く貢献しています。



代表取締役社長
熊谷 努



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された方々及びそのご家族の皆さま、また、同感染症により生活に重大な影響を受けている方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療関係者をはじめとする感染拡大の中でご尽力されている方々に感謝申し上げます。

当社第74期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

一連の電力システム改革により、事業環境が激変する中において、事業領域の拡大・新規事業の開拓を推進してまいりました。その結果、これまでのコア事業であった設備工事業に加え、O&M事業（福島天然ガス発電所）、製造事業

（タイ王国Bangpakong工場）、発電事業（境港バイオマス発電所：建設中）など新しい事業へも進出することができました。このような活動を更に拡大・強化していく考えのもと、2021年度中期経営計画（2021年度～2023年度）を策定いたしました。「基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上」を最重要課題に掲げ、これまでの取り組みを加速させてまいります。

今後とも当社グループは、「暮らしのより確かな基盤をつくる」という理念のもと、環境に配慮し、工事の安全・品質の確保を最優先に取り組み、全社をあげて継続的な発展と企業価値の向上に努め、社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況・業績の推移(連結)

事業の概況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、国・自治体の経済政策により一部持ち直しの動きがみられたものの、足元では感染症が再拡大しており、先行きに対する不透明感は払拭されずに推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境は、電力システム改革の進展により電力関連設備工場の市場競争が激化しており、また、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の減少を背景として、民間設備投資の抑制及び工事計画の見直し等が発生し、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、電力安定供給のための社会インフラを支える企業としての使命を果たすため、感染拡大防止策を徹底した上で、事業活動の継続に取り組んでまいりました。

具体的には、既存事業領域を堅持するとともに、中期経営計画（2018年度～2020年度）の最重点課題である「収益構造の多様化と組織力の最大化による持続的な成長・拡大」を確実に遂行すべく、各火力・原子力・水力発電所の点検・保守、福島第一原子力発電所の廃止措置関連業務や福島復興関連業務、原子力発電所の安全対策工事、更に大型火力発電設備・コージェネレーション設備・通信設備等の工事、太陽光発電・バイオマス発電・水力発電等の再生可能エネルギー関連設備等の工事において受注・売上を拡大を図り、全社を挙げて利益の創出に努めてまいりました。

この結果、受注高は、自然災害に伴う太陽光発電設備工場の計画延伸があったものの、大型火力発電設備の建設工事やバイオマス発電所の長期運転保守受託の増加により、801億62百万円（前期比25.2%増）となりました。売上高は、コージェネレーション設備工事や原子力発電所の安全対策工事が進捗したものの、前期に比べ大型の火力発電設備や太陽光発電設備の建設工事が減少したことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるお客さまの工事計画の延伸・中止が生じたこと等により、595億14百万円（前期比10.5%減）となりましたが、次期繰越高は、863億86百万円（前期比31.4%増）となり、過去最高額を大幅に更新することとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少はあったものの、原価管理の徹底や経費の削減等により収益が改善されたことに加え、原価率の高い工事が比較的少なかったこともあり、営業利益は41億4百万円（前期比4.7%増）となりましたが、経常利益は投資事業の運用損等により39億200百万円（前期比0.5%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、

保有株式の売却益等により27億47百万円（前期比15.6%増）となりました。

なお、事業領域の拡大、新規事業への進出を加速するため、1月27日に締結いたしました株式会社日立プラントコンストラクションから火力発電に関連する事業の一部を承継する基本統合の件につきましては、その後、契約の締結プロジェクトチームを結成し鋭意統合プロセスを進めているところであります。

新中期経営計画スタート

当社グループは、本年4月から新たな中期経営計画（2021年度～2023年度）をスタートさせ、「基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上」を最重点課題に掲げ、これまでの取り組みを加速させてまいります。

事業領域の裾野を広げるため、これまで培ってまいりました技術力を活かし、コージェネレーションシステムや空調設備等の需要家さまの設備や、太陽光・小水力・風力・バイオマス・地熱等の再生可能エネルギー設備等の工事において、EPC（設計・調達・建設）からO&M（運転・保守）まで一貫したワンストップサービスをご提供してまいります。

更に、社内外のリソースを徹底的に活用し、新たな環境価値創造へ寄与する技術力・競争力の強化に取り組んでまいります。

2020年12月、当社グループは、地球規模で取り組むべきCO2削減、カーボンニュートラルへの取り組みの一環として、鳥取県境港市において2022年度の営業運転開始を目指し、自社所有となる木質バイオマス発電所の建設工事に着手いたしました。

他のバイオマス発電事業につきましても、自社所有発電所の建設によって蓄積した知見を活用し、お客さまの様々な事業計画に一連のバリューチェーン、すなわち資本参加からオーナーズエンジニアリング（建設中管理業務）、建設工事、O&M、LTSA（長期保守契約）等のあらゆる局面で貢献できるよう着実に取り組みを進めてまいります。

水力発電分野につきましては、鳥取県営水力発電所再整備事業におきまして、当社設立以来70有余年にわたり積み重ねてきた技術力を活かして、発電所の土木、建築工から水車、発電機の据付工事に参画する等、再生可能エネルギー分野の事業として更に強化してまいります。

原子力発電分野につきましては、東日本大震災直後から福島第一原子力発電所の事故収束作業にあたり、その後も継続して廃炉・汚染水処理

の作業に携わってまいりましたが、廃炉作業がより核心部へ移りつつある中、Wi-Fiネットワークシステム搭載型遠隔走行作業車を開発し現場への実践投入を図る等、今後も困難な作業へ積極的に関わり続けることで福島復興に向けた取り組みを継続してまいります。

また、柏崎刈羽原子力発電所での安全対策工事で培った消防火設備工事の知見と技術力を活かして、女川原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所等の安全対策工事へ活動領域を拡げており、引き続き、脱炭素化へ効果が大きい原子力発電所の再稼働へ向け貢献してまいります。

火力発電分野につきましては、ベース電源としての信頼性の維持・環境負荷の軽減（水素、アンモニアの活用やCCS（二酸化炭素回収・貯留））へ対応していくことで、電力事業を安定的に支えてまいります。

この度の株式会社日立プラントコンストラクションからの火力事業の承継につきましては、同社が所有する優れた技術による生産性の向上、優秀な人材の活用によるグローバルな事業展開、豊富な協力会社体制による施工力の強化等、様々なシナジーが期待できることから、火力発電分野に限定せずその効果を最大限に発揮するために、着実な統合作業を進めてまいります。

海外事業分野につきましては、アジア地域の旺盛なエネルギー需要に応えるべく、タイ国内に設立いたしましたTokyo Enesys (Thailand) Co.,Ltd.の工場稼働を本格化させ、当社グループとして設備の設計・製造から建設、運転・保守まで一貫した設備工事の受注を進めてまいります。

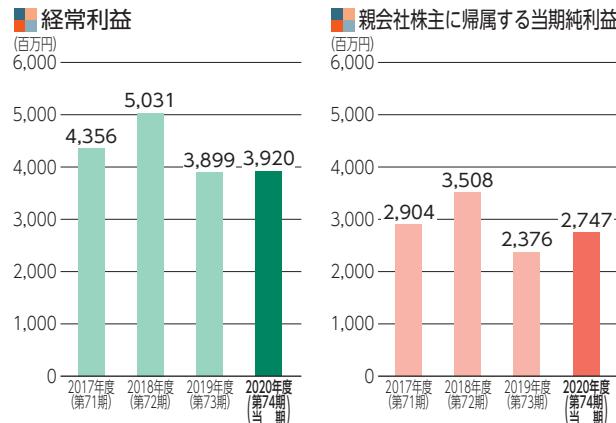
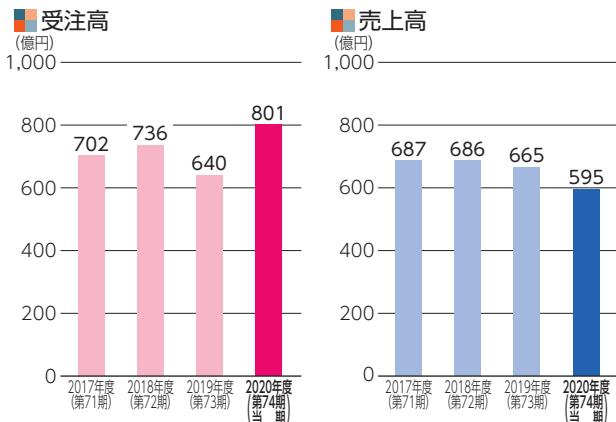
今後とも当社グループは、「暮らしのより確かな基盤をつくる」という理念のもと、あらゆる事業分野において、工事の安全・品質の確保を最優先に取り組み、全社を挙げて持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。また、社会と共生していくために、ESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGs（持続可能な開発目標）へ取り組むとともに、働き方改革、女性活躍推進、障がい者雇用や外国人技能実習生の受入れを積極的に進め、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

なお、今後も社会全般にわたり経済活動へ広く影響が予想される新型コロナウイルス感染症に対しても、お客さまへご迷惑をお掛けすることのないよう感染拡大防止策を徹底しBCP（事業継続計画）を実践してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、2021年度の配当につきましては、1株につき30円（中間配当金15円、期末配当金15円）を予定しております。

業績の推移(連結)



2021年度(第75期)業績予想(連結)

(単位:百万円)

売上高	77,000
経常利益	5,000
親会社株主に帰属する当期純利益	3,400

(注)業績予想につきましては、2021年5月17日に発表したものであり、今後さまざまな要因により、異なる結果となる場合があります。

中期経営計画

東京エネシスグループ経営ビジョン

エネルギーを「つくる」「つかう」、それを「つなぐ」システムを支え「暮らしのより確かな基盤をつくる」ことで豊かな社会づくりに貢献します

- ◆ 私たちはグローバルな視点にたって「成長し続ける企業」を目指します
- ◆ 私たちはお客さまのニーズをとらえ「期待を超えるクオリティ」を届けます
- ◆ 私たちは知恵と情熱をもって「多様な技術の修得・研鑽」を続けます

2021年度中期経営計画（2021年度～2023年度）

最重点課題

『基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上』

連結業績目標（3カ年平均）

受注高	900億円程度
売上高	800億円程度
営業利益	50億円程度
経常利益	50億円程度
親会社株主に帰属する当期純利益	35億円程度

重点目標

- I 設備工事を主体とした基盤事業の強靱化
- II 新事業領域の更なる拡大と収益力向上
- III 新たな環境価値創造へ寄与する技術力・競争力強化
- IV グループ組織力の最大化
- V 「キュードの価値観」を基盤とした企業風土の再構築
- VI 福島復興への継続的貢献

境港バイオマス発電所～建設中～

鳥取県境港市において、当社の100%子会社である合同会社境港エネルギーパワーを事業主として、「境港バイオマス発電所」の建設工事を2020年12月より着工しております。現在は、ボイラー基礎・タービン建屋・冷却塔等の工事を行っており、2022年度内の営業運転開始を目指し、今後も安全第一に建設工事を進めてまいります。



ボイラー基礎工事



冷却塔鉄筋工事

ガスタービン コージェネレーション設備設置工事の完成について ～省エネルギー化、CO2排出量削減に貢献～

当社はKHネオケム株式会社様千葉工場向け「ガスタービン コージェネレーション設備設置工事」の設計、調達、施工、試運転までを一括受注・施工いたしました。ガスタービン コージェネレーションシステムにより、工場内の電力供給に加え、回収した排熱を生産用に活用することができ、非常に高い総合エネルギー効率を実現し、省エネルギー化、CO2排出量削減というお客さまのニーズにお応えすることができ、今後もお客さまとともに環境負荷低減の取り組みを実施することで、社会的な責務を果たしてまいります。



ガスタービン コージェネレーション設備の全体像

決算概要(連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)	科 目	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	58,464	56,460	流 動 負 債	16,487	15,116
現金預金	9,304	12,183	支払手形・工事未払金等	6,418	7,215
受取手形・ 完成工事未収入金等	29,167	32,601	短期借入金	76	149
有価証券	13,998	3,000	未払法人税等	736	1,070
未成工事支出金	3,310	4,806	未成工事受入金	3,239	1,700
その他	2,683	3,869	完成工事補償引当金	65	24
貸倒引当金	△0	△0	災害損失引当金	4	—
			工事損失引当金	631	529
固 定 資 産	31,151	28,941	その他	5,316	4,426
有形固定資産	(20,336)	(17,918)	固 定 負 債	8,269	7,526
建物・構築物	8,217	8,458	長期借入金	1,750	350
機械・運搬具	751	727	繰延税金負債	8	34
工具器具・備品	407	427	退職給付に係る負債	6,101	6,729
土地	8,039	8,268	資産除去債務	353	359
リース資産	2	7	その他	55	52
建設仮勘定	2,917	29	負 債 合 計	24,756	22,643
無形固定資産	(801)	(829)	(純資産の部)		
投資その他の資産	(10,013)	(10,193)	株 主 資 本	62,773	60,882
投資有価証券	7,992	7,760	資本金	2,881	2,881
繰延税金資産	1,765	2,083	資本剰余金	3,965	3,965
その他	272	370	利益剰余金	57,891	56,156
貸倒引当金	△17	△20	自己株式	△1,964	△2,120
資 産 合 計	89,616	85,401	その他の包括利益累計額	2,144	1,840
			その他有価証券評価差額金	2,237	1,810
			為替換算調整勘定	△92	30
			非支配株主持分	△59	36
			純 資 産 合 計	64,859	62,758
			負債・純資産合計	89,616	85,401

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	59,514	66,520
売上原価	51,116	58,360
売上総利益	8,398	8,159
販売費及び一般管理費	4,293	4,241
営業利益	4,104	3,918
営業外収益	320	292
営業外費用	505	311
経常利益	3,920	3,899
特別利益	209	6
特別損失	27	266
税金等調整前当期純利益	4,102	3,639
法人税、住民税及び事業税	1,301	1,371
法人税等調整額	136	△105
当期純利益	2,664	2,373
非支配株主に帰属する当期純利益	△83	△2
親会社株主に帰属する当期純利益	2,747	2,376

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	10,754	2,390
投資活動による キャッシュ・フロー	△16,164	△3,224
財務活動による キャッシュ・フロー	469	△965
現金及び現金同等物に 係る換算差額	149	△182
現金及び現金同等物の 増 減 額	△4,791	△1,983
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	14,143	16,126
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	9,264	14,143

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	当 期 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)							
	株 主 資 本					その他の 包括利益 累計額	非 支 配 株 主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計			
当 期 首 残 高	2,881	3,965	56,156	△2,120	60,882	1,840	36	62,758
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△958		△958			△958
親会社株主に帰属する当期純利益			2,747		2,747			2,747
連結範囲の変動			△53		△53			△53
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分				156	156			156
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						304	△95	208
連結会計年度中の変動額合計	-	-	1,735	155	1,891	304	△95	2,100
当 期 末 残 高	2,881	3,965	57,891	△1,964	62,773	2,144	△59	64,859

株式の状況 (2021年3月31日現在)

株式数 発行可能株式総数 72,589,000株
発行済株式の総数 37,261,752株

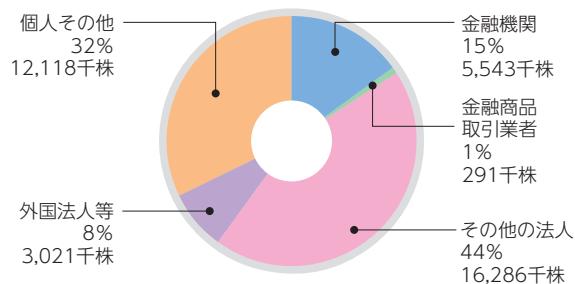
株主数 3,935名

大株主

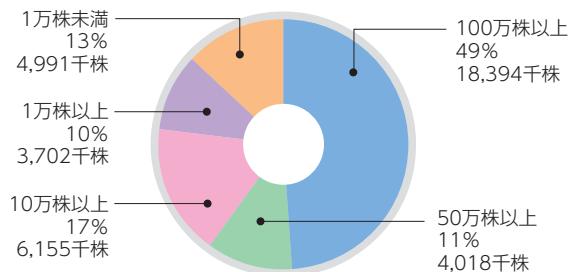
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東京電力ホールディングス株式会社	9,064	26.49
光通信株式会社	3,384	9.89
東京エネシス社員持株会	1,482	4.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,416	4.14
太平電業株式会社	822	2.40
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	743	2.17
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	668	1.95
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	602	1.76
新日本空調株式会社	600	1.75
株式会社UHPartners2	581	1.70

(注) 当社は、自己株式3,045千株を保有しておりますが、上記大株主への記載及び持株比率の計算から除いております。

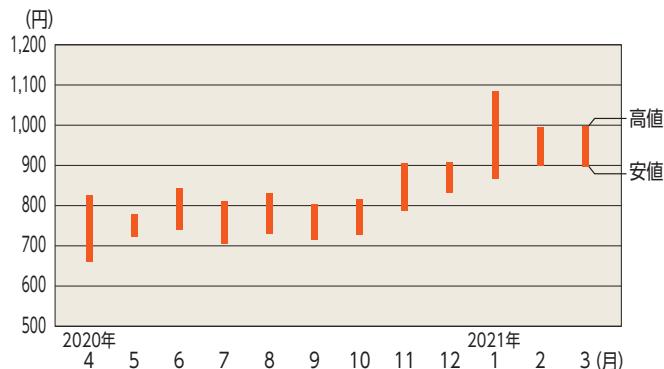
所有者別株式分布状況



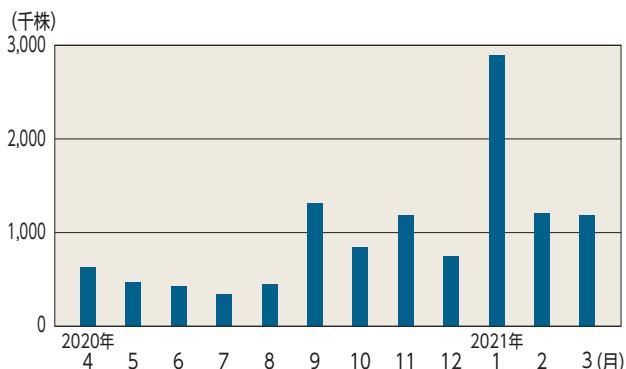
所有株式数別株式分布状況



株価の推移 (2020年4月～2021年3月)



株式売買高の推移 (2020年4月～2021年3月)



会社概要 (2021年6月29日現在)

商号 株式会社 東京エネシス
英 文 名 TOKYO ENERGY & SYSTEMS INC.
本店所在地 東京都中央区日本橋茅場町一丁目3番1号
設立 1947年8月14日
資本金 28億81百万円
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 1945)
従業員数 1,464名 (連結) 1,279名 (個別)
営業種目

1. 発電電・送配電設備及び一般電気工作物の設計並びに施工
2. 情報通信設備の設計並びに施工
3. 化学機械・水処理設備その他設備の設計並びに施工
4. 土木建築工事の設計並びに施工
5. 上記に関連する設備の運転及び保守管理
6. 機械器具、材料及び燃料の製造、販売及び賃貸
7. 電気供給事業
8. 労働者派遣事業
9. 不動産の売買及び賃貸並びに管理

事業所 京 浜 営 業 所 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-36-17
 セントラルメゾン302
 千 葉 営 業 所 千葉県市原市五井6256-1
 茨 城 営 業 所 茨城県ひたちなか市西光地2-23-5
 福 島 総 合 支 社 福島県双葉郡大熊町大字熊字錦台180-1
 新 潟 支 社 新潟県柏崎市青山町字青山9-4
 青 森 支 社 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字弥栄平1-5
 溶接・検査センター 千葉県千葉市中央区蘇我町2-1369

役 員
 代表取締役社長 熊 谷 努
 社長執行役員
 代表取締役副社長執行役員 眞 島 俊 昭
 取締役常務執行役員 鈴 木 康 司
 取締役常務執行役員 堀 川 総一郎
 取締役常務執行役員 海 野 伸 介
 取締役常務執行役員 小 川 泰 規
 取締役常務執行役員 五 十 嵐 信 二
 取締役 田 中 等
 取締役 杉 町 真
 取締役 西 山 茂
 取締役 監 査 等 委 員 椎 名 真 司
 取締役 監 査 等 委 員 稲 垣 宣 昭
 取締役 監 査 等 委 員 二 宮 照 興
 取締役 監 査 等 委 員 森 秀 文

主なグループ会社

会社名	資本金	主要な事業内容
東工企業株式会社	100百万円	不動産の賃貸及び管理並びに電線類の売買
株式会社バイコム	50百万円	機械装置・工具・車両等の賃貸及び売買
株式会社テクノ東京	30百万円	発電設備の工事の請負
株式会社東輝	10百万円	損害保険代理業

会社名	資本金	主要な事業内容
Tokyo Enesys (Thailand) Co., Ltd.	490,000千 タイバーツ	発電機械設備の製造及び販売
Admiration Co., Ltd.	2,000千 タイバーツ	発電機械設備の売買
合同会社境港 エネルギーパワー	0百万円	バイオマス発電事業
PT. HASHIMOTO GEMILANG INDONESIA	13,166百万 ルピア	バイオマス燃料の製造及び販売

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.tr.mufg.jp/daikou/ 電子公告 (http://www.qtes.co.jp/) による。 ただし、電子公告によることができない場合は 日本経済新聞に掲載する。
公告方法	

お知らせ

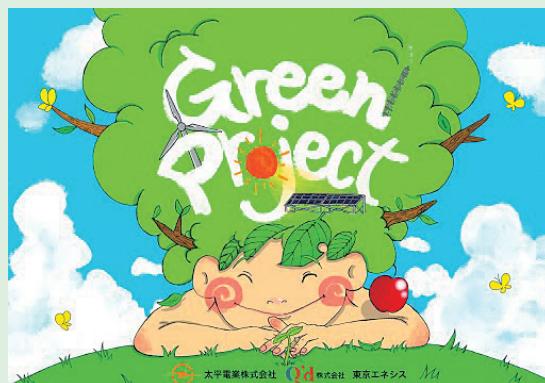
- 当社株式に関する手続き（住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種）につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の電話及びホームページで承っております。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページアドレス

<http://www.qtes.co.jp/>

東京エネシス

検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

